

2020 年 6 月 18 日

神戸市看護大学

神戸市看護大学 新型コロナウイルス感染症に対応した総合実習ガイドライン

本ガイドラインは、総合実習にかかわる看護学生と教員向けの行動指針である。新型コロナ禍の中、総合実習において、感染予防と感染拡大を防ぐための、現時点での最善の行動を示している。また、この内容は、看護職の職業上の倫理でもあり、実習施設でケアする者としての自覚・心構えでもある。

本学の総合実習の基本方針

1. 臨地での総合実習（以下、実習という）の学習機会を確保する。
2. 状況に応じて学内実習やオンライン実習を併用する。
3. 実習を履修する学生および実習指導教員は自己管理と標準予防策を徹底遵守する。

I. 総合実習期間

2020 年 7 月 6 日（月）～2020 年 7 月 22 日（水）

II. 本ガイドラインの目的

学生および患者（利用者）、教員を新型コロナウイルス感染から守り、実習が安全に行われるようにすること。

III. 感染防止対策

1. 実習施設への対応

学生および実習指導教員は、本学または実習施設が作成した誓約書（学生は別紙 1、教員は別紙 2）を、説明を十分に聞いた上で、実習前までに提出する。

2. 基本的な感染防止対策の実施（履修学生および実習指導教員）

感染成立の 3 要因への対策と、病原体を 1 持ち込まない、2 持ち出さない、3 拡げないを基本とする。

1) 実習前・実習中の日常生活において

- ① 手指衛生、アルコール消毒、咳エチケット、マスク着用など、衛生行動を徹底する。

- ② 総合実習オリエンテーションにおける感染症対策の遵守の重要性と徹底について、教員は指導する。
- ③ 実習の 2 週間前より毎朝夕の検温及び自覚症状の確認を実施し、記録を義務づける。記録用紙は共通のものを使用する（学生は別紙 3、教員は別紙 4）。但し、病院指定の健康管理票がある場合はそれを使用する。
- ④ 実習 2 週間前から実習中は、人と直接接触するアルバイトは行わないこととする。
- ⑤ 実習 2 週間前から実習中は、三密に相当する集会やイベント類への参加、不要不急の外出は自粛し、念のため行動の記録をつけることを義務づける。
- ⑥ 感染による事故に備えて、Will 等の保険への加入を義務とする。
- ⑦ 特に、公共交通機関を長時間利用しなければならない場合は、感染予防に留意する。
- ⑧ 自宅から実習施設までのマスクは各自で準備する。
- ⑨ 十分な睡眠、適度な運動、バランスの取れた食事を心がける。

2) 実習中

- ① 手指衛生、アルコール消毒、咳エチケット、マスク着用など、衛生行動を徹底する。
- ② 37.5℃以上の発熱の場合は、実習中止とする。ただし、平熱や他の症状を勘案し 37.0℃から 37.5℃については総合的に判断する。
- ③ 同居家族が感染者あるいは感染者との濃厚接触者であることがわかった場合は、速やかに連絡し、指示があるまで自宅で待機する。連絡先は、学生の場合は担当の実習指導教員、教員の場合はその分野の教授とする。（実習要項参照）
- ④ 実習中は通学・通勤時に着用したマスクから、大学が配布した実習用のマスクに必ず付け替える。帰宅時は、実習中のマスクを着けたまま帰らない。
- ⑤ マスクの他、実習施設で使用する感染予防具を、実習指導教員は、所定の場所（4 階大会議室の倉庫）から臨地実習場所に移動させ、必要な場所に設置または交換する。
- ⑥ 実習施設の更衣室のロッカーの配置表を実習指導教員が作成し、データは 2 週間保管する。
- ⑦ 実習中は、大学が配布した手指消毒用アルコールジェルを携帯し、適宜使用する。
- ⑧ 病棟等実習施設における感染予防対策については、施設の基準に従う。

IV. 三密を避けるための対応

集団感染が確認された場合に共通する、密閉空間、人の密集、近距離で会話や発声という 3 条件が同時に重なる場を徹底的に避ける。

1. 密閉

部屋は常にドアを開放しておく。エアコンがある場合は、スイッチをオンにしておく。

2. 密集

- ① 通学・通勤時、休憩時、食事時などは、可能な限り十分な距離（2m以上）をとる。
- ② 実習終了後帰宅時間は、通勤・通学ラッシュ時間を避けるように努力する。
- ③ 更衣室が密集する場合は、分散して更衣するように心がける。

3. 密接

- ① 対面での会話・食事は横並びで行い、大声で話さないようにする。
- ② 共有する物品（テーブル、椅子、ドアノブ等）は、食後と帰宅前に最後に使用した人が除菌シートなどで消毒する。

4. ごみの廃棄

- ① 使用したマスクは各自ビニール袋に封し、自宅で廃棄する。
 - ② ゴミは、学生・教員ともに持ち帰る。
- その他、施設の指示に従う。

V. 学生に新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応

1. 学生および実習指導教員に陽性者が出た場合（実習学生自身、実習指導教員）

大学は、学校保健安全法第 20 条に基づき、陽性者の実習は速やかに中止とする。その規模および期間については兵庫県等と十分相談する。

2. 学生および実習指導教員が感染者の濃厚接触者に特定された場合（同学年・同グループの学生、受け持ち患者、実習病棟の医療従事者など）

大学は、学校保健安全法第 19 条に基づき、該当者の実習は中止とする。その期間基準は、感染者と最後に濃厚接触した日から起算して 2 週間とする。

※今後の感染状況や政府方針等の状況に応じて、適宜、ガイドラインを修正する。

参考資料

大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドラインについて（周知）

https://www.mext.go.jp/content/20200605-mxt_kouhou01-000004520_5.pdf

新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所 及び養成施設等の対応について

https://www.mext.go.jp/content/202000302-mxt_kouhou01-000004520_2.pdf

●●病院

病院長 ●●●●様

COVID-19 感染拡大防止への対応に関する誓約書

私は、以下の内容を遵守し貴施設で実習いたします。

1. 自己の体調管理に努め、同居家族の体調も確認したうえで実習に臨みます。
2. 実習期間中、毎朝夕検温を行い、体調不良時には実習を中止します。
3. 以下の感染防止策に則り行動します。
 - ・手洗い、含嗽の励行
 - ・対象者へのケア前後の手指消毒（消毒薬の携帯）の徹底
 - ・施設内でのマスクの着用
 - ・登下校時のマスクの着用（施設内で使用したマスクは使用しない）
 - ・その他、貴施設のルールに則った感染防止策
4. 実習に際し、以下の行動を慎み、各自で感染拡大防止に努めます。
 - ・実習の2週間前からの海外を含めた感染拡大地域への出入り
 - ・不特定多数の人が利用し、感染リスクが懸念される施設への出入り
 - ・実習の2週間前からは、人との直接接触のアルバイトは行わない。
 - ・その他、感染防止に配慮していない行為
5. 実習の2週間前からの体調チェックは自身で行い、現在、異常症状はありません。
6. 貴施設で実習中に自身が感染したことが判明した場合は速やかに申し出ます。

年 月 日

神戸市看護大学・看護学部 4年生

氏名 _____

●●病院

病院長 ●●●●様

COVID-19 感染拡大防止への対応に関する誓約書

私は、以下の内容を遵守し貴施設で実習の指導をいたします。

1. 自己の体調管理に努め、同居家族の体調も確認したうえで実習指導に臨みます。
2. 実習期間中、毎朝夕検温を行い、体調不良時には実習指導を中止します。
3. 以下の感染防止策に則り行動します。
 - ・手洗い、咳嗽の励行
 - ・対象者へのケア前後の手指消毒（消毒薬の携帯）の徹底
 - ・施設内でのマスクの着用
 - ・通勤時のマスクの着用（施設内で使用したマスクは使用しない）
 - ・その他、貴施設のルールに則った感染防止策
4. 実習指導に際し、以下の行動を慎み、感染拡大防止に努めます。
 - ・実習の2週間前からの海外を含めた感染拡大地域への出入り
 - ・不特定多数の人が利用し、感染リスクが懸念される施設への出入り
 - ・その他、感染防止に配慮していない行為
5. 実習の2週間前からの体調チェックは自身で行い、現在、異常症状はありません。
6. 貴施設で実習指導中に自身が感染したことが判明した場合は速やかに申し出ます。
7. 実習中の学生の健康状態に留意し、学生が感染防止に配慮した行動を遵守できるように指導します。

年 月 日

神戸市看護大学

教員氏名

総合実習 学生健康管理票

学籍番号	氏 名

月 日	／ (土)	／ (日)	／ (月)	／ (火)	／ (水)	／ (木)	／ (金)	特記事項
(時刻)体 温	() ℃	() ℃	() ℃	() ℃	() ℃	() ℃	() ℃	※実習開始前2週間以内の健康状態について記載する。
(時刻)体 温	() ℃	() ℃	() ℃	() ℃	() ℃	() ℃	() ℃	
咳 嗽	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	※週末の外出状況について本欄に記録する。 (月)～(金)
倦怠感	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
息苦しさ	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
咽頭痛	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
喀痰	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
鼻汁・鼻閉	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
筋肉・関節痛	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
頭 痛	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
味覚・嗅覚異常	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
下 痢	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
嘔気・嘔吐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	(日)
その他(症状)								
※感染者と接触した可能性	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
※同居家族に上記の症状あり	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
担当教員確認欄								

※毎朝検温、症状等を記入のうえ、実習担当教員の確認を受けてから実習を開始してください。症状がある場合は、□に✓を入れて、担当教員の指示を受けてください。

※実習最終日にこの用紙を担当教員に提出してください。

総合実習 教員健康管理票

教 員 氏 名

月 日	/ (土)	/ (日)	/ (月)	/ (火)	/ (水)	/ (木)	/ (金)	特記事項
(時刻)体 温	() °C	() °C	() °C	() °C	() °C	() °C	() °C	※実習開始前 2 週間以内 の健康状態について記 載する。 ※週末の外出状況につい て本欄に記録する。 (月)～(金) (土) (日)
(時刻)体 温	() °C	() °C	() °C	() °C	() °C	() °C	() °C	
咳 嗽	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
倦怠感	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
息苦しさ	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
咽頭痛	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
喀痰	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
鼻汁・鼻閉	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
筋肉・関節痛	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
頭 痛	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
味覚・嗅覚異常	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
下 痢	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
嘔気・嘔吐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
その他(症状)								
※感染者と接触 した可能性	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
※同居家族に上 記の症状あり	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	

※毎朝検温、症状等を記入のうえ、自己健康管理をおこなってください。症状がある場合は、□に✓を入れて、上司に相談するなどの対応をとってください。